

- 周囲の音が邪魔になる可能性がある場合は、ヘッドセット/マイクを使用してください。
- 画面の下にマウスを動かすと、下のタスクバーが表示されます。タスクバーの[ミュート]および[ビデオの停止]をクリックし、マイクはミュートに、カメラはオフにしてください。
- 可能であれば、自分の名前を正しくご表示ください。下部のタスクバーで[参加者]をクリックして[参加者]ペインを開き、参加者名の右側をクリックし、[名前の変更]を選択して名前を修正します。
- 録音・録画は禁止です。
- 質問は[チャット]で提示することができます。「送信先」から「全員」を選び、「ここにメッセージを入力します・・・」に入力して送信してください。質疑応答はすべての講演が終わったところで、まとめて行います。
- インターネット接続が最適でない場合は、カメラの電源を切る、Zoomの再起動、PCの再起動を試みてください。これにより、Zoom 接続が改善される可能性があります。



送信先: 全員 ▾ 📎 ファイル ⋮

ここにメッセージを入力します。。。

S-Net → 画面左下「▶サイトマップ」→活動実績・資料→自然史標本データ研究会

サイエンスミュージアムネット

サイエンスミュージアムネットについて 参加機関・参加検討中の機関の方へ

戻る

サイエンスミュージアムネットを使う

- [トップページ \(日本語\)](#)
- [トップページ \(英語\)](#)
- [参加機関・データセット一覧 \(日本語\)](#)
- [参加機関・データセット一覧 \(英語\)](#)
- [関連ポータル](#)

サイエンスミュージアムネットについて

- [このサイトについて](#)
- [利用規程](#)
- [プライバシーポリシー](#)
- [著作権とリンク](#)
- [お問い合わせ先](#)

参加機関・参加検討中の機関の方へ

- [はじめに](#)
- [S-Net/GBIFへのデータ提供](#)
- [はじめてようS-Net](#)

お知らせ・活動実績・資料を見る

- [お知らせ](#)
- [過去の活動実績](#)
- [活動実績・資料](#)

自然史標本データ研究会

生物多様性情報を利活用するための事例研究・実習の資料です。

第35回
2020年11月14-15日
オンライン

GBIF関連サイトの使い方とより品質の高いデータ提供のためのテクニック

- データ利用編
- 1-1) GBIF/S-Netご紹介 (国立科学博物館 細矢 剛)
- 1-2) S-Netのデータ検索とダウンロード・地図に落とす (細矢)
- 1-3) GBIFデータのダウンロード、利用例 (国立科学博物館 水沼 登志恵)
- データ提出編
- 2-1) データクリーニングのポイント (細矢)
- 2-2) 問題あるデータのチェックポイント (細矢)
- 2-3) 新しいレッドデータ種チェックシステムの紹介 (水沼)
- 2-4) GBIFサイトを使った学名チェック (細矢)

案内、発表：1-1)細矢、1-2)細矢、1-3)水沼、2-1)細矢、2-2)細矢、2-3)水沼、2-4)細矢、資料：実習資料

<http://science-net.kahaku.go.jp/app/page/activity.html>